

～下田のデキゴト～



7/27 下岡蓮杖翁と下田

下田開港 170 周年記念事業として、古写真家で蓮杖研究の第一人者である森重和雄氏をお招きし、下岡蓮杖の他、幕末で活躍した下田出身の写真師について講演いただき、約 60 名の方が聴講しました。



7/29 - 30 先生たちの社会科見学

小中学校の先生を対象に、市内歴史施設を巡る社会科見学が実施されました。子どもたちの郷土学習に役立てていただくことを目的に、先生自らが社会科見学をするという内容で、2日間に6施設を巡りました。



8/5 議員と中学生のつながるミーティング

議場において、市議会議員と下田中学校生徒とのつながるミーティングが実施されました。生徒は意見交換をはじめ、議場の紹介や議会の仕組みなどを学習し、議員に対して様々な質問や要望などが挙げられていました。



8/7 南海トラフ地震に備えて

明治大学都市計画研究室、京都大学防災研究所と連携し、南海トラフ地震の臨時情報発表された際の要支援者の避難対応について、関係各課と社会福祉協議会が集まり、課題解決に向けたワークショップを実施しました。



8/13 - 15 下田八幡神社例大祭

3日間に渡って旧町内において下田八幡神社例大祭(下田太鼓祭り)が開催されました。お神輿や供奉道具を担ぐ威勢の良い掛け声と、それを囃したてる太鼓と笛、三味線、熱気の溢れるお祭りとなりました。



8/26 河内庁舎安全祈願祭

新庁舎整備事業の総仕上げとなる第2期工事が河内庁舎敷地によいよ始まります。分散している市民保健課などの窓口部署と教育委員会が河内庁舎に集約されます。令和8年春のオープンを予定しています。

8月の
できごと
3日 下田をきれいにする日
7日 要配慮者に関するワークショップ
13-15日 下田八幡神社例大祭

21日 寿大学
26日 安全祈願祭
29日 市内小中学校始業式

地域子育て支援センター通信

問合せ先 地域子育て支援センター ☎2200



- 2日(水) めだかルーム 9時~11時30分
 - 4日(金) 敷根公園で遊ぼう 9時30分~11時
 - 5日(土) 開館日
 - 7日(月) ベビーリトミック(岡かよの先生)
 - 9日(水) あひるルーム(敷根公園) 9時30分~11時
 - 10日(木) 遊・VIVAさんと遊ぼう 10時30分~
 - 11日(金) おでかけ広場(海遊公園) 9時30分~11時
 - 16日(水) うさぎルーム(敷根公園) 9時30分~11時
 - 19日(土) 開館日
 - 21日(月) 体育館で遊ぼう(市民スポーツセンター) 9時30分~11時
 - 23日(水) ヨガ&リトミック(工藤千明先生)
 - 24日(木) 誕生会 10時30分~
 - 25日(金) 8020双葉事業「虫歯予防教室」10時30分~
 - 28日(月) 発育測定・育児相談 9時~11時
保健師講話(保健師・栄養士来所)
 - 30日(水) 31日(木) ハロウィン製作
- ※予定は変更になる場合があります。
詳細は子育て支援センターまで問い合わせください。



親子で楽しいリズム遊び プール遊び

日中は日差しが厳しいですが、朝夕の風が心地よく感じられるようになってきました。夏から秋へと季節がバトンタッチするようですね。今年の支援センターの夏は、お家の人と一緒にたらいやビニールプールの水遊びを毎日楽しみました。

9月から「年齢別ルーム」が始まります。年齢にあった玩具、環境を用意しています。同年齢の子と一緒に遊びながら親子で交流を深めていきましょう。第1・2・3水曜日の午前は、年齢指定の日になります。遊びにきてくださいね!



誕生会 夏祭りごっこ

こんにちは、教育長です

「感謝状」

この記事を書いている今、パリでは暑い戦いが繰り広げられています。日本も暑い夏となり、平均気温が県内5地点で更新されたようです。熱中症や水難事故も多く、命を救い感謝される報道や、特殊詐欺から救ったとして、感謝状を贈られた金融機関もあります。勇気ある行動に感謝状。素晴らしいことです。

さて、今回は20年ほど前の出来事をご紹介します。今の暑い朝でした。仕事で東海道線を利用した際、私の隣に座っていた男性が突然ガタガタ揺れはじめ、床にすり落ちました。持病か熱中症でしょうか、視線が定まらず失神しています。周囲の乗客も戸惑いを隠せず、中には車両を替える人もいました。私は咄嗟に、頭が床に打ち付けられないように持っていたカバンを頭にあてがい、「どなたかお医者さんはいませんか」と大きな声で呼びかけましたが、反応はありませんが、体の揺れは収まりましたが、「聞こえますか」の呼びかけに反応はなく、私に

はこれ以上の対処ができず困り果て、向かいに座っていた二人の女子高校生に「ねえ、お願いがあるんだけど」と言うと、察したように二人は立ち上がり、電車の進行方向に向かって「どいてください」と駆け抜けました。ようやく次の駅に停車すると、担架をもった駅員が二人立っていました。二人の女子高生は、運転手に事態を伝え、次の駅に連絡を取ってもらっていました。患者は担架で運び出され、ドアが閉まると、私も女子高生も他の乗客も元の席に戻り、落ち着きました。

私は降り際に「本当に助かりました。ありがとうございます」と二人は顔を見合わせてにっこりしていたように記憶しています。制服から高校名が分かったので、電話でその高校の教頭先生に一部始終を話し、お礼を伝えました。名前は分からなかったのですが、全校集会の折にでも、そんな出来事があったと紹介されることを願いました。私からの感謝状を贈りたかった、そんな出来事でした。

